

信用事業業務検定試験問題

第57回 農業融資財務分析基礎

2025年10月4日 実施

ご注意(試験開始前によく読んでください)

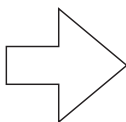
1. 答案を作成する前に、この冊子の裏表紙に印刷してある「答案作成上のご注意」をよく読んでください。
2. 解答用紙に記載されている**受験番号・氏名**が正しいかどうかを確認してください。誤りがある場合は監督者に申し出てください。
3. 試験問題は、監督者の合図があってから開封してください。
4. 試験問題は、連動する通信教育講座の内容に沿って作成しています。
5. 試験問題に関しては、印刷不明瞭な点以外の質問は受け付けません。
6. 不正な行為があったときは、解答はすべて無効になります。
7. 退席の際には、解答用紙は必ず監督者に直接手渡してください。
8. そのほか、監督者の指示に従ってください。

※ 本検定試験の優秀成績者については県域あて通知文書等において所属団体・氏名等を公表することとしておりますが、**ご同意いただけない方は下欄に記入の上、試験終了後、本紙をミシン目に沿って切り取り監督者にご提出ください。**

私は、優秀賞(最優秀賞含む)を受賞しても所属団体・氏名等の公表に同意いたしません。

都道府県名				所属団体名											
受験番号												氏 名			
			-				-								

ここを切開く



農業融資財務分析基礎

連動する通信教育講座の内容や各種規定(統一版等)に基づき解答してください。

[問1] 経営体の種類に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. さまざまな要件を満たし、農地を取得することができる農業法人は農地所有適格法人と呼ばれる。
- b. 法人とは、法的に人格を持った経営体をいい、その法人の代表者の名義で商売を行う。
- c. 個人で農業を営む者は1月1日から12月31日までの1年間の儲けを計算し、この儲けから所得税を計算して、翌年3月15日までに税務署に申告と納税を行う。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問2] 決算書の種類と青色申告に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 実際に帳簿を作っていない場合でも、事前に申請をしていれば青色申告が取り消されることはない。
- b. 青色申告の事業者は、いくつかの税金計算の特例を使うことができる。
- c. 青色申告とは、収入や経費に関する日々の取引の状況を記帳し、その記帳からきちんと儲けや税金を計算して申告することをいう。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

〔問3〕 次のa～eの取引が生じた際、仕訳において現金を貸方に計上するものはいくつあるか。(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業用器具を現金 300,000 円で購入した。
- b. 事業用の銀行口座から現金 100,000 円を引き出した。
- c. 収穫した野菜を販売し、売上 500,000 円は掛けとした。
- d. 掛けにしていた売上 500,000 円を現金で受け取った。
- e. 事業用の銀行口座に現金 300,000 円を預け入れた。

- (1) 2つ
- (2) 3つ
- (3) 4つ

〔問4〕 次のうち、農業に関する収入金額として計上する必要がないものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 販売目的で作った米を、自分の家で消費した分の金額
- b. 卸売業者から、出荷奨励金として交付を受けた金額
- c. 作業場の火災により、支払いを受けた共済金の金額

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

〔問5〕 個人事業主(青色申告者)のAさんは、令和7年7月1日に事業専用のパソコン(法定耐用年数4年、定額法の償却率＝0.250)を180,000円で購入した。この場合、Aさんが購入したパソコンの減価償却費は、令和7年中に最大いくらまで計上できるか、次の(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、Aさんが令和7年になって購入した固定資産は、このパソコンのみである。

- (1) 22,500 円
- (2) 60,000 円
- (3) 180,000 円

〔問6〕 取得価額 330,000 円、取得時期・今年3月10日、耐用年数7年、償却方法・定額法で個人事業主が取得した耕うん機について、1年目の未償却残高と2年目の未償却残高の正しい組合せを1つ選びなさい(耐用年数7年の定額法償却率は0.143)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 1年目 282,810 円 2年目 235,620 円
- (2) 1年目 290,675 円 2年目 243,485 円
- (3) 1年目 294,607 円 2年目 247,417 円

[問 7] 個人事業主が令和 6 年 9 月 20 日にトラクター(法定耐用年数 7 年)を 1,800,000 円で購入した場合の令和 7 年中の減価償却費として正しいものを 1 つ選びなさい。なお、年の途中での除却・売却・休止はないものとし、償却方法は定率法、耐用年数 7 年の償却率は 0.286 とする。また、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 465,723 円
- (2) 477,992 円
- (3) 514,800 円

[問 8] 次のうち、支出した金額すべてが修繕費として計上できるものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 牛舎だった建物を養鶏場にするため、模様替えや改装を行った際の支出
- (2) 耕うん機を修理・点検し、部品の一部を特に高性能なものに交換した際の支出
- (3) 自宅の作業場にあった脱穀機を、隣町にある別の作業場に移設した際の支出

[問 9] 人件費に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 専従者給与の要件の 1 つに、給料をもらう家族が、その年の 12 月 31 日現在で年齢が 18 歳以上であることがある。
- b. 白色申告の場合、専従者に対する給与は経費にできないが、給与があってもなくても、一人につき 55 万円(本人の配偶者である場合は 65 万円)を経費にすることができる。
- c. 1,000 円の農産物を従業員に配った場合の仕訳は、次のとおりである。

借方 雇人費 1,000 円 貸方 家事消費 1,000 円

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 10〕 その他の経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 固定資産税、印紙税、贈与税は「租税公課」として経費になる。
- b. ガソリン代は「動力光熱費」として、プライベートで使った分も含めて経費に計上できる。
- c. 獣医に支払った治療代は、「農薬・衛生費」として経費となる。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 11〕 農産物以外の棚卸高に関する次の記述について、誤っているものはどれか、次の(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 未収穫の農産物の棚卸高は、農産物以外の棚卸高に記載する。
- (2) 農産物以外の期末棚卸高は、その仕入価格を経費からマイナスする。
- (3) 種苗、飼料、農薬等は、税務署に届出がなければ、先入先出法により棚卸高を計上する。

〔問 12〕 青色申告者の個人事業主 A さんは専業農家であり、農業所得の他に収入はない。A さんは令和 6 年の確定申告を、令和 7 年 2 月 28 日に e-Tax（電子申告）で行ったところ、収入から経費などを差し引いた、青色申告特別控除前の所得金額は 500,000 円となった。ここから青色申告特別控除額を差し引くと、最終的な A さんの所得金額はいくらになるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 150,000 円
- (2) 0 円
- (3) - 150,000 円

[問 13] 現金預金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸借対照表の資産の部に記載する現金預金は、農業に関するものに限られ、プライベートなものは含まれない。
- b. 現金預金対借入金比率は、現金預金と借入金のバランスを確認するものであるが、預金には普通預金だけでなく定期預金も含まれる。
- c. 期首の現金預金対借入金比率が95%、期末の現金預金対借入金比率が110%の場合、財務状態は悪化していると考えられる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 14] 固定資産に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. ソフトウェアは、無形固定資産、かつ非減価償却資産である。
- b. 土地は、減価償却をしない固定資産である。
- c. 固定資産の種類ごとに、年末までの減価償却費を控除した未償却残高を損益計算書に記載することで、まだ経費になっていない固定資産がどれだけあるかを表す。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 15] 買掛金、未払金、預り金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品を購入し代金を支払っていない場合、この代金は買掛金という資産になる。
- b. 給与支払者が、あらかじめ給与から税金を差し引き、従業員に代わってその税金を納税する仕組みを、源泉徴収という。
- c. 源泉徴収の納期の特例では、1月から6月までに源泉徴収した金額は、7月10日までに納付する必要がある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 16] 個人事業主が契約している生命保険に保険料を支払った際、以下のとおり仕訳を起票した。

(単位：円)

	借方	金額	貸方	金額	摘要
5 月 20 日	保険料	7,000	事業主借	10,000	生命保険 保険料
	事業主貸	3,000			

この仕訳が正しい場合、ここから読み取ることができる内容のうち、誤っているものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 10,000 円は、事業主個人の私的な現預金から支出している。
- (2) 7,000 円は事業に関する損害保険料であり、必要経費に計上できる。
- (3) 3,000 円は事業主に関する生命保険料であり、必要経費に計上できる。

[問 17] 元入金に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 元金は、会社でいうところの資本剰余金にあたるものである。
- b. 貸借対照表における、元金の期首残高と期末残高は一致する。
- c. 事業主貸と事業主借は 1 年以上繰り越すことはなく、翌年に儲けと一緒に、元入金に足し引きする。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

個人農家の下記資料を基に，[問 18]～[問 22] に答えなさい。

損益計算書 (単位：円)

収入金額	販売金額	8,700,000
	農産物の期首棚卸高	330,000
	農産物の期末棚卸高	290,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	140,000
	種苗費	260,000
	肥料費	270,000
	農具費	110,000
	農薬・衛生費	290,000
	減価償却費	160,000
	利子割引料	22,000
	雑 費	245,000
	小 計	1,497,000
差引金額		(?)
貸倒引当金 繰戻額		(②)
専従者給与		2,872,000
貸倒引当金 繰入額		88,000
青色申告特別控除額		550,000
所得金額		3,730,000

貸借対照表 (単位：円)

資 産			負債・資本		
科 目	1 月 1 日	12 月 31 日	科 目	1 月 1 日	12 月 31 日
現 金	350,000	340,000	借入金	885,000	932,000
普通預金	1,460,000	1,380,000			
売掛金	1,400,000	1,600,000	貸倒引当金	77,000	88,000
農産物	(?)	(③)			
農機具等	920,000	860,000	事業主借	/	0
			元入金		3,498,000
事業主貸	/	4,328,000	(?)	/	(④)
合 計		8,798,000	合 計		(?)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 8,060,000
- (2) 8,660,000
- (3) 8,740,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 77,000
- (2) 88,000
- (3) 165,000

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 40,000
- (2) 290,000
- (3) 330,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,180,000
- (2) 3,730,000
- (3) 4,280,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸借対照表に建物の記載がないので、この事業主の自宅は借家だとわかる。
- b. 事業主貸として4,328,000円が計上されているので、この金額が家計から事業に移っているといえる。
- c. 現金預金対借入金比率を見ると、この個人農家の財務状態は前年に比べて悪化していると考えられる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に，[問 23]～[問 29] に答えなさい。

貸借対照表
(令和 7 年 3 月 31 日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【(①)資産】	【3,760,000】	【(①)負債】	【2,500,000】
現金預金	1,650,000	買掛金	950,000
売掛金	1,600,000	未払金	970,000
農産物等	310,000	預り金	320,000
仕掛品	288,000	未払法人税等	260,000
貸倒引当金	△ 88,000		
【(②)資産】	【13,240,000】	【(②)負債】	【1,800,000】
(有形(②)資産)	(13,240,000)	長期借入金	1,800,000
建 物	3,800,000		
農機具	650,000	負債の部 合計	4,300,000
果樹・牛馬等	520,000	純資産の部	
育成仮勘定	770,000	【資本金】	【5,000,000】
土 地	7,500,000	【利益剰余金】	【7,700,000】
		繰越利益	7,700,000
		純資産の部 合計	12,700,000
資産の部 合計	17,000,000	負債・純資産 合計	17,000,000

損益計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：円)

【売上高】		14,400,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	360,000	
当期農業原価	<u>7,750,000</u>	
合 計	8,110,000	
期末農産物棚卸高	<u>310,000</u>	<u>7,800,000</u>
売上総利益		6,600,000
【(③)及び一般管理費】		<u>5,030,000</u>
営業利益		1,570,000
【営業外収益】		
貸倒引当金戻入	88,000	
雑収入	<u>62,000</u>	150,000
【営業外費用】		
(④)利息	<u>96,000</u>	<u>96,000</u>
経常利益		1,624,000
税引前当期純利益		1,624,000
法人税, 住民税及び事業税		<u>504,000</u>
当期純利益		<u>1,120,000</u>

株主資本等変動計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		純資産合計
			利益剰余金	繰越利益	
当期首残高	5,000,000	0	0	(⑤)	(?)
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				1,120,000	1,120,000
当期変動額合計	0	0	0	1,120,000	1,120,000
当期末残高	5,000,000	0	0	(?)	12,700,000

[問 23] ①②に当てはまる語句として、正しい組合せを1つ選びなさい。

- (1) ①固定 ②繰延
- (2) ①固定 ②流動
- (3) ①流動 ②固定

[問 24] ③に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 人件費
- (2) 減価償却費
- (3) 販売費

[問 25] ④に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 預貯金
- (2) 受取
- (3) 支払

[問 26] ⑤に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 6,580,000
- (2) 7,700,000
- (3) 12,700,000

[問 27] 流動比率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 22.1%
- (2) 66.5%
- (3) 150.4%

[問 28] 自己資本比率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 29.4%
- (2) 60.6%
- (3) 74.7%

[問 29] 固定長期適合率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 77.9%
- (2) 91.3%
- (3) 109.5%

[問 30] 各種財務指標による分析に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 売上総利益率、営業利益率、経常利益率は、安全性分析で使われる指標である。
- b. 当座比率は、100%未満が理想といわれている。
- c. 労働分配率は、「人件費÷付加価値額×100(%)」の計算式で求められる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の文章の空欄A～Cに当てはまる語句として正しい組合せはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

「勘定合って銭足らず」という現象が生じるのは、端的に言えば【 A 】のズレが原因である。昔の商売は、商品の販売と代金の回収が一致していた【 B 】主義が中心であったのに対し、今の商売は、商品の販売と代金の回収が必ずしも一致しない【 C 】主義が中心であるためである。

- (1) A：時間 B：発生 C：現金
- (2) A：計算 B：発生 C：現金
- (3) A：時間 B：現金 C：発生

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、営業の過程で資金が不足するものを、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、各記述はそれぞれ独立したものであり、この記述のほかに取引はないものとする。また、令和7年3月25日取引開始前の現預金残高は40万円である。

- (1) 令和7年3月25日に商品36万円を掛けて仕入れ(決済日同年4月30日)、この商品を同年4月15日に48万円で掛け売りした(決済日同年5月30日)。
- (2) 令和7年3月25日に商品45万円を掛けて仕入れ(決済日同年5月30日)、この商品を同年5月15日に55万円で現金販売した。
- (3) 令和7年3月25日に商品42万円を掛けて仕入れ(決済日同年4月30日)、この商品を同年4月25日に48万円で掛け売りした(決済日同年5月30日)。

〔問 33〕 損益計算と収支計算に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 商品を掛けで仕入れ、この商品を現金で販売した場合、「損益計算上の利益<収支計算上の収支」となる。
- b. 期末に未販売農産物が 120,000 円(販売価格)発生していた場合、収支計算上 120,000 円のマイナスとなる。
- c. 前期から繰り越された未販売農産物が 60,000 円(販売価格)、当期末に 45,000 円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の売上が 550,000 円だった場合の当期利益は、565,000 円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 34〕 次の①～⑤の取引を行った結果、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい(現預金の月初残高 480,000 円とする)。

- ① 商品を 150,000 円で仕入れ、代金は現金で支払った。
- ② 商品を 230,000 円で売り上げ、代金は掛けとした。
- ③ 以前受け取っていた受取手形 330,000 円が決済され、普通預金に入金された。
- ④ 以前振り出していた支払手形 270,000 円が決済され、当座預金から引き落とされた。
- ⑤ 月次決算において、減価償却費 52,000 円を計上した。

- (1) 173,000 円
- (2) 390,000 円
- (3) 620,000 円

〔問 35〕 仕入と売上原価に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。なお、本問に記載のない事項は一切考慮しなくてよい。

- a. 期首の在庫(すべて当期に販売)の金額よりも、期末の在庫の金額が小さい場合は通常、資金が増加する。
- b. 仕入れたモノのうち、売れ残っている部分は売上原価にならない。
- c. 期首棚卸高 30,000 円、当期仕入高 24,000 円、期末棚卸高 27,000 円、原価値入率(※)は期を通して 20% で一定であった場合、資金は 8,400 円増加する。なお、本問は農産物以外の取引であり、売上および仕入はすべて現金で決済されるものとする。

(※)原価値入率 = (売上高 - 売上原価) ÷ 売上原価 とする。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 36〕 在庫に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 収穫基準が適用される米・麦・いも類の未販売農産物については、会計上、在庫として認識する。
- b. 在庫の不良化や陳腐化の発生は実質的な回収が見込めなくなり、資金繰りに大きな影響を及ぼすことになる。
- c. 仕入れた商品が売れ残った場合、(仕入 - 売上原価)に相当する在庫が増えることになる。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 37〕 個人事業主の A さんは、令和 6 年 10 月に所有する機械装置(法定耐用年数 7 年)の修理を 700,000 円で業者に依頼し、同年 12 月末に修理が完了した。修理代金は翌令和 7 年 1 月に全額支払っているが、経費支出の計上はまだ行っていない。A さんがこれから行うべき処理のうち、適切でないものはどれか。(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 修理が資本的支出に該当する場合、未払金として 700,000 円を計上すること。
- (2) 修理が資本的支出に該当する場合、減価償却費として 700,000 円を計上すること。
- (3) 修理が資本的支出に該当しない場合、修繕費として 700,000 円を計上すること。

[問 38] 次の①～④の取引で利益と収支が一致するのは、②の取引から何か月後か、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 商品 50,000 円を掛けで仕入れた。
 - ② ①の商品を1か月後に 70,000 円で掛け売りした。
 - ③ ①の買掛金は、仕入れてから 1.5 か月後に 2 か月サイトの手形で支払った。
 - ④ ②の売掛金は、売り上げてから 2 か月後に 2 か月サイトの手形で回収した。
- (1) 3 か月後
 - (2) 4 か月後
 - (3) 5 か月後

[問 39] 仕入支出と売上収入に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品を仕入れてから売り上げて、お金を回収するまでのプロセス(手形を使わない場合)は、次のとおりである。
仕入→在庫→売上→売掛金→現金収入
 - b. 買掛金のサイト、支払手形のサイト、在庫期間は、いずれも長ければ長いほど、お金が不足する期間は短くてすむ。
 - c. 仕入れた商品が販売されお金になるまでに 3.5 か月かかり、その仕入代金をお金で支払うまでが 2.5 か月の場合は、売上が増えたとお金は不足しない。
- (1) 1 つ
 - (2) 2 つ
 - (3) 3 つ

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. お金が余りそうなときに、そのお金の有利な運用を考えることも、資金繰りに該当する。
 - b. 資金繰りに失敗し経営破綻する会社は、例外なく業績が悪い。
 - c. 個人事業主・会社社長いずれも、自分のビジネスの財務体質をしっかりと把握して、全体の資金の運用と調達について、根本から改善していくことが大切である。
- (1) 1 つ
 - (2) 2 つ
 - (3) 3 つ

[問 41] 資金繰りを考えるうえで考慮される現預金増減の法則に関する次の記述について、現預金の減少として捉えるものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 減価償却費が減少した。
- b. 元入金が減少した。
- c. 買掛金が増加した。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 42] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 自己資本は、貸借対照表の貸方合計のことを意味している。
- (2) 他人資本は、事業主以外の第三者から調達した現預金を意味している。
- (3) 負債の減少は、現預金の減少を意味している。

[問 43] 個人事業主の貸借対照表に関する次の計算式について、空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せを1つ選びなさい。

$$\text{翌年の元入金} = \text{当年の元入金} + \boxed{A} - \boxed{B} + \boxed{C}$$

- (1) A 当年の所得金額(青色申告特別控除後) B 当年の事業主貸
C 当年の事業主借
- (2) A 当年の所得金額(青色申告特別控除前) B 当年の事業主借
C 当年の事業主貸
- (3) A 当年の所得金額(青色申告特別控除前) B 当年の事業主貸
C 当年の事業主借

[問 44] 次のうち、資金貸借対照表において、流動資金の調達に該当する勘定科目はいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 元入金
- b. 買掛金
- c. 長期借入金

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 45] 固定資金、流動資金の運用と調達に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 固定資金に余裕がある場合は、流動資金の世界に、固定資金の余裕資金が流れ込んでくる。
 - b. 固定資金でまかないきれない部分の金額は、結果として、流動資金によってまかなわれることになる。
 - c. 資金繰りの観点からは、「固定資金の運用 > 固定資金の調達」となっていることが望ましい。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 46] 設備資金の調達と計画に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 不要な固定資産を売却することは、固定資金の運用を減らすことにはつながらない。
 - b. 個人事業主の場合において、年の途中における「元入金」の増加はできず、あくまで「事業主貸」として処理する。
 - c. 借入金の返済原資となる内部留保した利益(処分後利益)とは、個人事業主の場合には税引前利益から所得税などの税金を支払った残りの利益をいう。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 47] 運転資金に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 営業運転資金の不足資金を調達する場合、資金不足の原因を追究する必要はない。
- (2) 運転資金は、「流動負債(仕入債務)－流動資産(売上債権＋棚卸資産)」で表すことができる。
- (3) 営業運転資金とは、そのビジネスの営業に直接関係のある資金の運用金額が、その調達金額よりも大きくなっている場合の、その不足資金をいう。

〔問 48〕 営業運転資金に関する下記の図に関する次の説明について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

売掛金 1,650,000 円	買掛金 850,000 円
棚卸資産 550,000 円	

- a. 売掛金 1,650,000 円のうち、1,300,000 円分が手形で回収されれば、営業運転資金の不足は解消する。
- b. 売掛金 1,650,000 円のうち、1,200,000 円分を現金販売できていれば、営業運転資金が不足することはなかった。
- c. 売掛金・棚卸資産の合計と、買掛金との差額は営業運転資金の不足分であるから、何らかの方法で調達しなければならない。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 49〕 金融機関と結ぶ当座貸越契約に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 口座の残高がマイナスになっても、一定の金額までは資金の決済ができる。
- b. 短期借入金などの資金調達方法に比べて、金融機関の審査が厳しくない。
- c. 借りやすいからといって、特に目的もなく借入れをすることは望ましくない。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

〔問 50〕 売上債権や在庫を少なくするための方法として、不適切なものはどれか、
（1）～（3）の中から、1つ選びなさい。

- （1） 得意先と締め日や支払方法などを明確にしておく。
- （2） 期日より早く代金を払ってくれた得意先に対する売上割引は、回収を早める効果はあるものの、売上債権管理の面からは避けるべきである。
- （3） それぞれの商品について、適正な在庫量を決めて、重点的に管理する。

答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ④ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2025年10月9日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。<https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記二次元バーコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿9階
TEL 03-6457-8806 (代表)